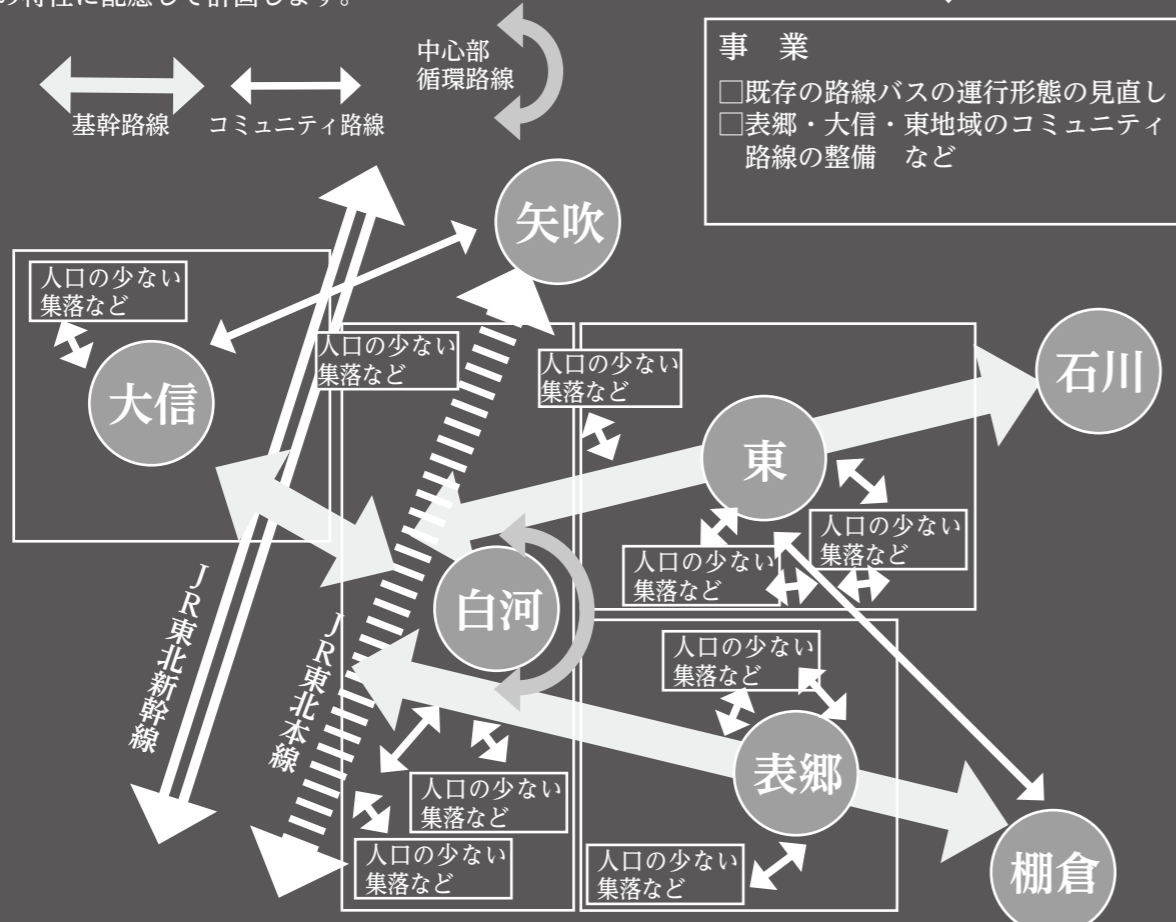


バス路線計画の基本的な考え方 **ポイント1**

- 人口分布、施設配置、道路網など地域の構造を勘案して計画します。
  - ①地域の拠点と市中心部は、幹線路線でつなぎます。
  - ②需要の少ない各地域のコミュニティを支える路線は、柔軟な方法で対応します。
  - ③市中心部では、人の回遊性を高めるために路線バスの利便性を向上させます。
  - ④公共交通空白地域は、医療施設の送迎バス等との連携を図り対応します。
- 市民の移動時間の特性に配慮して計画します。

基本方針

- 公共交通の不便さを改善します。
- 利用実績やニーズに応じた運行に見直します。
- 地域と協力し、柔軟で効率的な仕組みを構築します。
- 市民の利用意識を高めます。



- 事業
- 既存の路線バスの運行形態の見直し
  - 表郷・大信・東地域のコミュニティ路線の整備 など

利用促進策の基本的な考え方 **ポイント2**

- ①自発的に公共交通を選択する意識を育みます。
- ②分かりやすい情報を提供します。
- ③いろいろな所で情報を発信します。
- ④いろいろな人から情報を発信します。
- ⑤支払方法を改善します。
- ⑥運賃制度を見直します。

- 事業
- 市ホームページなどでのバスマップや時刻表の情報提供
  - ICカード導入による支払い方法の改善
  - 商店と連携した利用促進 など

問本庁舎企画政策課 ☎221111 内2328

※「白河市地域公共交通総合連携計画」は、市ホームページからご覧いただけます。



◎特集 どうなる「路線バス」!?

The bus on a regular route in shirakawa  
**誰もが安心して移動できるように**

すべての方が移動しやすいまちをつくるためには、市民の皆さんをはじめ、公共交通事業者、行政が協力し、公共交通の整備を進め、またその利用促進に取り組んでいかなければなりません。市では将来にわたって、公共交通を維持・確保し、さらなる利便性の向上を図るための方向性を示した「白河市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

「白河市地域公共交通総合連携計画」を策定しました



「白河市地域公共交通総合連携計画」を3月に策定。公共交通の効率化による利便性の向上と利用促進の推進方向を示しています。

市では、通学や高齢者の移動など、市民の生活に欠かせない移動手段を将来にわたって確保するため、公共交通の効率化と利用促進によって収益改善を図り、その余力で路線バスが不慣れた地域を解消する方針を盛り込んだ「白河市地域公共交通総合連携計画」を3月に策定しました。

路線バスの利用実態と市民意向調査の結果を踏まえ、白河地域と表郷地域・大信地域・東地域が抱えている課題が異なることに配慮し、地域の特性に応じた公共交通の整備を今後10年間に渡り実施することで、誰もが安全に安心して快適に移動できるまちづくりを目指しています。

また、公共交通の充実にとどまらず、利用促進に向けた取り組みなども進めていくこととしました。